

岩手地区で共通課題の解決へ

要望の内容 (要約)

1. 広域的な観点からの道路整備の早期実現
2. 地域振興の観点からの道路の整備促進
3. 県立高等学校の存続（1学年2学級の継続など）
4. 魅力ある農業農村を復活させる農業振興策の推進
5. 100年先の山村を見据えた林業振興策の推進
6. 農業農村整備にかかる財源確保
7. 公立学校施設費国庫負担金（建築単価）の見直し



大会決議を行う中崎議長（左側）と議長団を務める鈴木議員（右側）

岩手地区議会議長会（佐藤弘吉会長（岩手町議会議長））主催による、第63回岩手地区議会議員大会が、7月28日に滝沢市ふるさと交流館で開催されました。地区内の議会議員、来賓に地区内の県議会議員と市町長ら約90人が参加し、さらなる地域の発展を相互に確認し親交を深めました。

県立高等学校の存続 1学年2学級の継続など

共通課題を議決

この大会は、滝沢市、葛巻町、岩手町、雫石町で構成する市町議会が、共通する地区の課題解決に向けて互いに協力するために、毎年開催しています。

大会では、道路整備など契機の課題7項目を、各市町の議会議員がそれぞれ提案。本町からは、山崎邦廣議員が「県立高等学校の存続」について特色ある学校経営に配慮し、1学年2学級を継続するなど、均衡ある高等教育を確保できるような提案しました。

満場一致で承認された7項目は、8月に県議会と県内の関係機関に対して要望活動を行います。10月には、岩手県選出の国会議員や国の関係機関に対して要望を行う予定です。

要望の主な内容は、左の表のとおりです。



提案説明する山崎議員

交流拠点複合施設を視察 ～ビッグルーフ滝沢～

滝沢市が建設を進めている、交流拠点複合施設「ビッグルーフ滝沢」を視察しました。

滝沢市役所前の3.7ヘクタールの敷地に、約6000平方メートルの建物を建設中です。事業費約45億円、岩手山の稜線をイメージした、特徴的なデザインの大型屋根が印象的です。

施設内には、イベントホール、図書館、特産品の販売コーナーやレストランなどを整備。施設の配色は、「チャグチャグ馬コ」から着想したものです。

本町でも、公共施設などの集約を検討しているため、今後の施設整備の参考となる視察内容でした。



建設中の施設を視察する議員ら